

一般質問(5)

市長の本気度とリーダーシップで市民への行政サービスの向上を!!

森 信一(民主・社)

選挙の開票時間の短縮を図っていただきたい。目標に向かって市長がリーダーシップを発揮することにより、縦割りの市職員意識を打破し、協調性を生み出し、後には市民サービス...



開票作業 (スポーツセンター)

将来の安心・安全のために今、必要なことは

望月 伸光(民主・社)

防犯について(街路灯) 犯罪の抑止には暗い夜道を照らす街路灯が有効だが、反面近隣居住者や農作物への影響の問題がある。改善策はどうか。また、設置の条件、照度、状況について何う。

設置に際しては付近の住民の了解を得て設置する。照度については一般的には20Wだが、交差点など場所によって明るさは異なる。30m程度の間隔で設置されている。農作物への影響がないように遮光板などの工夫をしている。 高齢者福祉について 高齢化の問題では既に施設介護は限界に来て、

まずは、耐震診断費助成事業を秋ごろ開始に向けて準備している。 子どもの人権・権利を確保し、子どもたちが相談員と顔を合わせずに、悩み事を気軽に聞いてもらえる。聞き上手な電話相談室をつくることできないか。 現在学校や児童館に悩み事相談室があるが、新たな提案として検討する。

市民が主役の市政運営を行い 公平・公正な西東京市の実現を!

山崎 英昭(民主・社)

住吉公民館移転後も会議室などを活用し地域活動を続けられるようにせよ。 管理運営方法を含め検討する中で具体化したい。 HP上に電子公文書館を設置し、すべての公文書を保存・公開せよ。



生け垣と屋敷林 (富士町3丁目)

西東京市の財政分析と経営戦略プランについて問う

相馬 和弘(民主・社)

地方財政健全化法が成立した。一般会計と特別会計だけでなく、一部事務組合や公社、第三セクターなどを含む実質赤字比率、連結赤字比率、将来負担比率などの新たな財政指標の整備と財政情報の開示の徹底をねらいとしている。議会及び市民に対して財政状況の透明性を確保し、高めることが財政危機を回避する一番の近道であると考え、市長の見解を伺う。 財政白書の作成を行っているが、市民に財政状況を示していくことは重要なことである。



小児平日夜診療 (月・水)に 対応する佐々総合病院

成人健診の強化と小児救急医療は 医師の協力が不可欠!

桐山 ひとみ(民主・社)

来年度より健診事業の新たな制度が確立され、今までの健診事業の形態が変わる。特定健診事業では、メタボリックシンドロームに注目した生活習慣病予防などを旨とし内臓脂肪の蓄積測定が健診項目に追加されるが、どのような制度かわかる。現在の健康診断は、老人保健法等に基づき実施しているが、来年度より40歳から74歳までの健診・保健指導については国民健康保険、健康保険組合等の各保険者が実施主体となり、糖

公共施設適正配置計画を見直し 合併の成果を市民サービスへ

二木 孝之(民主・社)

総合計画後期基本計画の見直しに当たり、公共施設適正配置計画のまとめに向けた進捗状況を示せ。 秋ごろをめどに施設白書をまとめ公表したい。 持続可能な市民サービスとしていけるかを問われているが、保護者等の

所得制限の撤廃について検討、実施しないか。 重要な課題である認識しているが、市の財政状況を考えると直ちに実現するのは厳しい。医療費助成事業への財政支援等については、これから市長会を通じて都へ要望していく。 中学校への通級学級早期設置について問うが、特別支援教育への対応を充

小児救急医療体制について。 今後も医師の確保が大きな課題。1市単独では解決できない問題は、引き続き広域のスキームで対応する。清瀬小児病院が3年後に移転するため、今後、小児初期救急の次の2次救急医療についても、圏域の枠を越えた連携も視野に入れ検討したい。



遮光板が設置されている街路灯(谷戸町3丁目)